

# アリの巣づくりの研究4～光は巣づくりに関係するのか？～

小学校  
5-6年  
52

## 1 研究の目的

- (1)これまでの研究…私が3年生から研究してきたことを下の表にまとめる。
- |                      |                                 |
|----------------------|---------------------------------|
| 令和3年(3年生)            | トピイロケニアリは東京あたりで最も多く見られる。        |
| トピイロケニアリの巣づくりについて    | トピイロケニアリは夜をたくさん活動していた。          |
| 令和4年(4年生)            | トピイロケニアリはほとんど日中を過ごし、出入り口もついていた。 |
| トピイロケニアリの巣づくりの理由について | あさひアリは巣ははがれやすい(山ヤマアリのようだ)       |
| 令和5年(5年生)            | 種類によっては巣を守らねば。                  |
| 山ヤマアリの巣づくりの理由について    | 工をしめられないとアリは巣をつくらない。            |
| これまでの研究で             | 大きさでアリは巣をつくらなかった。               |
| これからの研究で             | アリは巣づくりに關係あるのか?                 |
| 新たに気付いたこと            | 大きさでアリは巣をつくらなかった。               |
- (2)今年の研究について…今年は光はアリの巣づくりに關係あるのか?を調べたい。
- 理由はこれまでの研究を通してアリは夜も巣をほっていたので光はアリの巣づくりに關係ないのかと思いつたから。

## 3 結果

- (1)①フロヤマアリ (体長4.5~6mm) 山で採集。体は灰色かかれた黒色、最も普通に見られるアリの一つ。

	0時間	12時間	24時間	36時間	48時間	60時間	72時間	84時間	96時間	108時間	120時間
表裏											
表裏											
表裏											
表裏											
表裏											

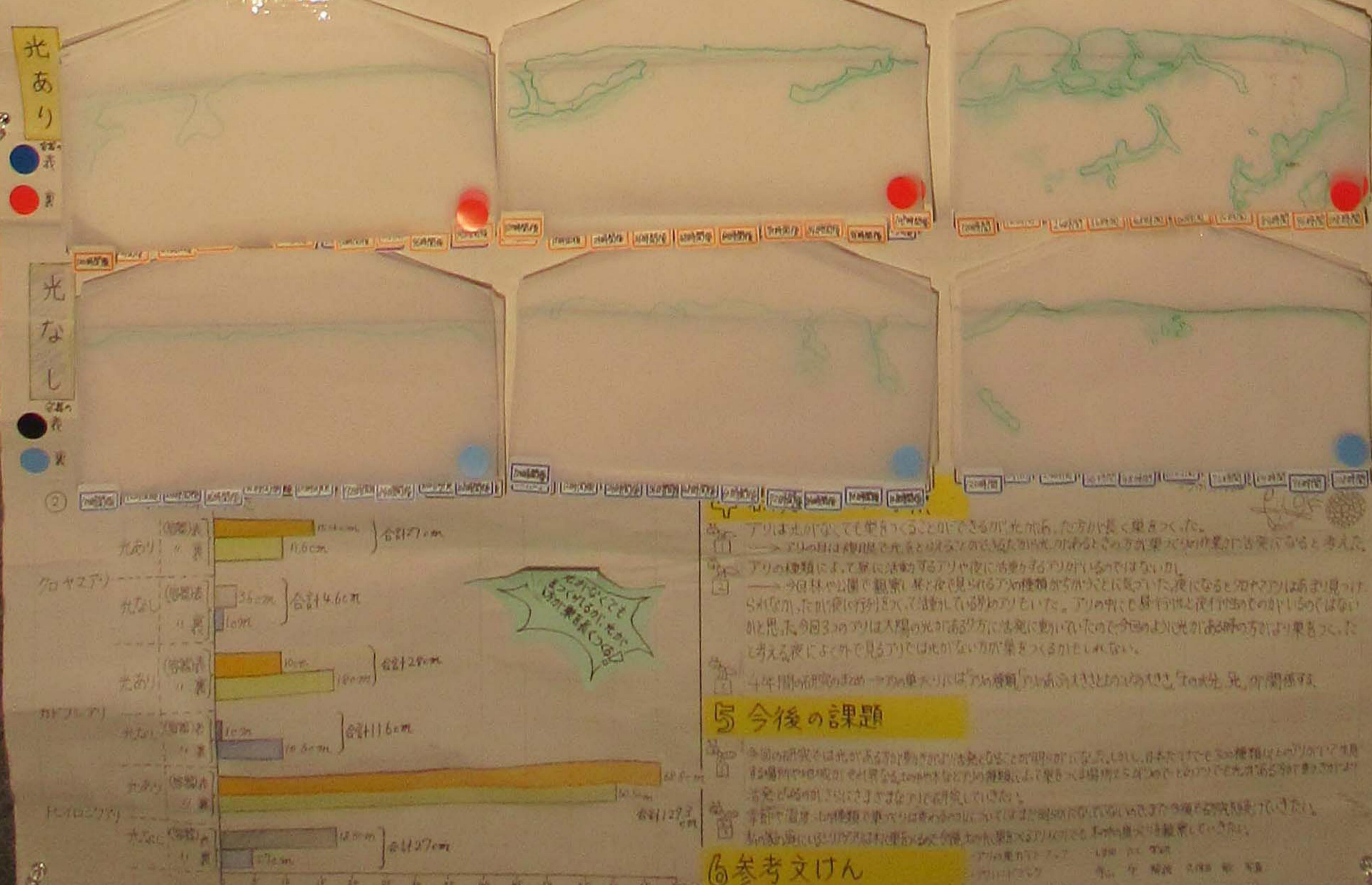
- (2)カドフシアリ (体長3mm) 山で採集。体は黒色で脚触角、足の先は黄褐色。

	0時間	12時間	24時間	36時間	48時間	60時間	72時間	84時間	96時間	108時間	120時間
表裏											
表裏											
表裏											
表裏											
表裏											

- (3)トピイロケニアリ (体長25~35mm) 公園で採集。胸部は頭部に比べて少し淡色、草むらから林内にかけて最も普通に見られる。

	0時間	12時間	24時間	36時間	48時間	60時間	72時間	84時間	96時間	108時間	120時間
表裏											
表裏											
表裏											
表裏											
表裏											

(2)①巣の広がり方 クロヤマアリ



## 2 研究の方法と予想

- (1)内容…光はアリの巣づくりに関係するのか?
- (2)方法…「日中光を当て続ける場合」「日中光を当てない場合」の巣の広がり方を調べる。  
 - 12時間ごとに(午前7時と午後7時)にそれぞれのアリの巣づくりを調べる。  
 - 容器の表と裏からそれぞれどうめいなフルムに巣の広がり方を観る。
- (3)準備物…容器[高さ12cm 幅22cm あつさ15cm]、  
 -